

令和5年5月30日

(一社) 地図協会

令和5年度(2023) 事業計画

自令和5年4月1日～至令和6年3月31日

令和5年度(2023)の地図協会は、2022年度からの高校での地理必修化による、新たな教育指導要領下での地図の普及・販売に関わる諸課題について、学校図書館への地形図の常備化に取り組むことといたします。

地形図の売上枚数も減少、「書店離れ」が進み、当協会の会員社数も減少の一途を辿る厳しい状況を踏まえて、抜本的な活動の見直しが必要となっております。多くの国民が地形図の存在すら知らない状況を改善し、地形図等の利用の拡大を実現する為に地図の普及活動では、学校図書館を活用した地形図の利用推進を図ります。教育現場で学生、生徒、児童のそれぞれの学習の場で地形図に触れ学ぶことの重要性を国や地方自治体の関係部署に積極的に働きかけを行うこととします。

I 地図の利用・普及および地図情報の発展に資する事業(実施事業)

1. 「測量の日」関連事業

測量・地図に関する情報、知識を国民に普及、啓発するため「測量の日」(6月3日)の関連イベントに参加することとします。

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言や三密回避のための自粛要請の見通しを注視しつつ、国土地理院関東地方測量部および当協会を含む関係団体で構成する、「測量の日」東京地区実行委員会が主催する「くらしと測量・地図展-Tokyo 1964-2023(仮称)」に主催者団体として参加します。

開催見込時期 令和5年6月7日(水)～6月9日(金)3日間

開催場所予定 新宿駅西口広場イベントコーナー

*地図等の普及促進に役立つよう、地形図の周知及び教育現場での地図活用を促すためのパネル展示等を行うこととします。

2. 「地図展」の開催

地図展は、広く国民に地図を通して国土や地域について理解と親しみを深めていただくとともに、より一層地図に親しみ、地図を利用していただくことを目的に、毎年一回全国の主要都市で開催しています。令和5年度は、例年通り一般財団法人日本地図センターを中心に当協会を含む関係7団体の「地図展推進協議会」主催で「地図展2023」を開催します。

日時：令和5年9月15日(金)～9月20日(水) 10時～18時

場所：名古屋国際センター4階

3. 児童生徒地図作品展の後援・表彰及び地図教育支援活動の推進

国土地理院並びに会員の要請を受けて、地域文化事業の継承と地図理解の向上のため、地方自治体等で開催する児童生徒地図作品展について後援及び表彰を行います。また、地図教育支援活動を積極的に推進します。

令和4年度は、前年度に引き続き、(一社)地図協会賞を贈呈することとします。

4. 一般の方々へホームページから新刊情報の発信

国土地理院発行の基本図(1万、2.5万、5万分1地形図、20万分1地勢図、小縮尺図等)及び数値地図(電子地形図25000等、数値地図(国土基本情報)、標高データなど)の月毎の新刊情報などを「新刊刊行」としてまとめ、情報提供するほか、地図販売網の周知、地形図新刊情報、測量の日関連行事などの公開を行います。

5. 会員の皆様へ専用ホームページ「協会たより」の発信

会員用の専用ページを通じて、会員間の情報交換や地図に関する様々な情報提供を行い、3か月先までの新刊刊行予定や協会活動状況など提供します。

6. ホームページの運用

当協会ホームページが会員及び地図購入者の「情報提供の場」として活用されるために、令和4年度は、「地図の友アーカイブ公開」と地形図の利活用動画「Dr トポ」の活用について検討をします。

7. 感謝状の贈呈

昨年度に引き続き、長年に亘って地図の普及・啓蒙にご努力頂いた方々を選んで、国土地理院長から敬意を込めた感謝状を贈呈させて頂くよう勧めることとします。

8. 政府刊行地図等の販売支援

国土地理院刊行の地図等の販売を行う(株)ぶよお堂、内外地図(株)の元売2社のほか、全国の地図販売店の会員に対して、販売を支援するため、刊行地図に関する定価等の問題・要望等を取りまとめ、国の関係機関へ働きかけるほか、地図等の普及活動を積極的に推進します。

令和4年度は、継続審議課題である「正味の回復について」引き続き、国土地理院と意見交換会を開催し、適正な流通の在り方(取引条件)の実現を目指します。

II 政府刊行地図等の販売に関する事業(その他事業)

1. 政府刊行地図等の販売

地形図等及び数値地図の販売は、当協会会員を支援する主力事業であるため、大変に厳しい市場環境下ではありますが、教育現場を中心に販売及び販路の拡大に努めます。

さらに、教育現場での紙地図の効用と必要性を認識していただくため、予算措置等の支援を関係機関に強く要請します。

具体的には、以下の取り組みを行います。

- (1) 2万5千分1地形図（多色刷）の新刊図拡大と販売の拡大に向けて取り組んでいく。
- (2) 引き続き「東日本大震災」の復旧・復興活動の支援、教育分野への働きかけなど紙地図の必要性や基本図の活用を積極的に進める。
- (3) 学校図書館への地形図の常備化の取り組みでは、首都圏を中心とした全国70校を対象に地形図学習セット（仮称）を無償配布し、学習効果の実証実験を開始する。

2. 「巡険の旅」の開催の見送りと代わるイベント（活動）

地図等の普及啓蒙及び地図と実際との検証を目的として、昭和49年度(1974年)から、地図に親しむ巡検の旅を実施しているが、令和4年度は、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から「巡検の旅」(9月～11月)開催を当面見送ることとし、代替策として地理教育の現場で活用する地形図学習の為の動画や【地形図教育パッケージ(仮称)地形図と解説書】などの作成について検討します。

3. その他この法人の目的を達成するために必要な事業（受託）

公益法人等から各種事業を受託するための活動を行います。

4. 定例の業務執行会議等の開催

関係理事及び監事を招集して、毎月第2週火曜日に定例の業務執行会議等を開催して、事務局事務の運営を行うこととします。

以上